

新年のご挨拶

理事長 下村 卓司

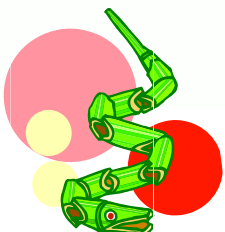
新年あけましておめでとうございます。一年がだんだん短く感じられるようになってきたのは多分年齢によるところが大きいのでしょうか。一日一日を大切に生きて行かなくては、と今更ながら感じつつ新年を迎えています。

さて、二十五年度からはじまる法人基盤整備事業の準備期間として位置付けた二十四年度も三月で終わり、いよいよ変化・変革の年と位置付けている二十五年度がスタートします。昨年年末に内々示を頂いた四月オープン予定のベーカリーカフェは、「スウィーツファクトリー モンステラ」「児童デイサービス はぐ&らいぶ」「生活介護事業 ぷっと」「生活介護事業 我楽」「生活支援センター しえくく」が入っているボノビルの一階に当法人全事業のアンテナショップ的にオープンする予定です。この店舗は、無農薬野菜を使ったサンドウィッチをメインとした「安心・安全で癒される空間」をコンセプトとしたベーカリーカフェとして地域に密着した店舗にしようと考え、現在その準備に追われています。オープン時にはあらためてご案内させていただきますので是非ご利用頂ければと存じます。

次に基盤整備を考えているのが施設入所支援事業である「ゆらくの里」の定員変更です。昭和六十三年に先代の理事長が開設した当施設は当時の設備基準に従っており、利用者一人あたりの専有面積が少なく、現在の基準には合致していません。そこで、ケアホームを新たに建設する事で一人あたりの専有面積を上げるとともに定員を減らそうと考えています。

その後も様々な変化・変革を継続し、当法人に関わるご利用者様・ご家族・職員・地域の方々のお役に立てばと考えています。

これからの福祉のキーワードは「共生社会」であり、それは「国際障害者権利条約」や制定予定である「障害者差別禁止法」でもわかるように、如何に地域と共生して行くかが本当に問われて行く事になると思われます。我々も本年から始まる基盤整備事業を通じて「真の共生社会」実現に向けて邁進する所存ですので今後益々のご理解とご支援をお願い申し上げます。



芸術活動を通して、障がい者の地位を高め、誰も阻害されたり排除されたりしない社会の実現を目指す運動が広まりつつあります。

以和貴会でも、作業をすることでご利用者様の機能維持や情緒面の安定を図りつつ、個々の能力・個性を生かした作品制作を支援するとともに、ご利用者様の可能性の開拓を目指してアート活動に取り組んでいます。また、公募展に作品を出展するという形で社会に参加し、作品の販売を行って利用者様へ還元を行うことも目標としています。陶芸、ビーズ手芸、牛乳パックから作った紙を使った絵葉書・カレンダーなどの制作を行っているグループもありますが、今回は絵画・工芸を中心に制作しているゆらくの里のアート活動班『暖』と今人・我楽の『アトリエそれいゆ』の活動をご紹介します。

暖（ゆらくの里 アート活動班）

ゆらくの里、アート活動班『暖』では、9名のご利用者様が、絵画・造形作品の制作に励んでおられます。みなさん正式な美術教育を受けておられませんが、個性に満ちた作品を日々生み出しておられます。

暖の活動では、アートの持つ力を借りてご利用者様に自分自身の感性や表現する力、可能性を発見していただくことを目指しています。表現の楽しさを知り、自分を常に輝かせることができる豊かな生き方を楽しんでいただけるようサポートしております。

さて、今回で第40回目を迎えた奈良県障害者作品展で、お二人のご利用者様が見事優秀賞を受賞されました。一人の方は『僕の古里、吉野の山川』と題する絵画を描かれました。ご自分が生まれ育った吉野の風景を思い出し、点描画で描かれた大作です。もうお一人は工芸作品『海底の生き物』を制作されました。いろいろな魚や



「僕の古里、吉野の山川」

海の生き物を色鮮やかな色彩で描かれ、海中の岩を紙粘土で表現された、立体感あふれる作品です。

お二人の受賞は今後の作品制作の励みにもなることと思います。今後の『暖』のアート活動にどうぞご期待ください。



「海底の生き物」



アトリエそれいゆ

8年前、『かんでんコラボアート21』に入選された今人のご利用者様と保護者様から「今人の施設でもっと専門的にアートを教えてほしい」というご要望をいただき、ボランティアとして『アトリエそれいゆ』を立ち上げました。

私たちが取り組んでいるのは『アール・ブリュット』と呼ばれるジャンルです。狭義では障がい者による芸術と理解されることもありますが、既存の美術教育を受けていない者の生粋の純粋な芸術と位置付けられています。名誉や体裁に拘らず権威にすぎらない、そのため世間にほとんど出ることはないが、実に清々しく Cool な表現として、今世界で注目されています。

ふとしたきっかけで始まった『アトリエそれいゆ』ですが、芸術活動を通してご本人の喜びはもちろん、ご家族の笑顔・幸せをも生み出す、とても意義のある活動に発展しています。

作品紹介

西谷光世さん 【我楽・サポート】
二科大阪展 ポストカードデザイン大賞 入選

今回で2回目の入選です。約1,800点中の237点の一つに選ばれました。障害のあるなしに関係なく評価していただいたこと、非常に嬉しく思います。

表彰式で、西谷さんのことを覚えておられた審査員の先生が「二科展デザイン部門に応募してみないか」と声をかけてくださいました。当日は西谷さんとお母様、スタッフの3人で出席しましたが、ご本人はもとよりお母様も大変喜ばれ「また作品制作をがんばりましょう」と声を掛け合いました。



西谷さんの作品
「CoCo ちゃん」



表彰式にて

山口裕樹さん 【今人・そ〜じや】
ビッグアイ・アートプロジェクト2012 入選

ビッグアイ（国際障害者交流センター）主催の公募展にて、520点中の50点の一つに選ばれました。

審査員は皆さん芸術方面の著名な先生ばかりで、山口さんは入選の喜びをご家族とともに分かち合っておられました。



山口さんの作品
「a passing rain」

これからも皆様の幸せのために努力精進し、活動を続けていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

我楽（GALA）職員
芸術ボランティア 岡橋三起子

施設内研修

12 月 26 日

以和貴会では、毎年 8 月と 12 月の年 2 回外部講師の方を招いて、職員のスキルアップを目的とした施設内研修を、全職員を対象として行っています。福祉に関連した研修はもちろん、社会人としての基本的なマナーを学んだり、AEDや応急救護の講習を受けて災害や緊急時に慌てず対応できるように備えたりもしています。

今回は、午前と午後の 2 回に分けて 2 種類の研修を実施しました。

午前の部では、「てんかんの薬について」をテーマに、メディキュアサポート株式会社の隅田重義様を講師に招いてお話を伺いました。前半はてんかん発作の起こる原因や発作の分類、検査と治療法について、後半では



ご利用様が普段から服用されている薬を中心に、薬の主作用および副作用、薬と薬あるいは薬と食品の組み合わせによる効力の増減等について学びました。

午後の部では、香芝消防署より救急救命士の方に来ていただいて、緊急時の応急手当について実習を交えて学びました。身体各所の止血法や骨折時の患部固定の方法、さらには窒息時の異物の除去方法を、吸引器の使い方を含めて教えていただきました。

今後も基本的なビジネスマナーから、新たに確立された援助技術の学習まで、幅広いテーマの研修を考えています。

そのなかで、新しいものを取り入れるだけでなく、緊急時の対応や応急救護など、数年毎に対応方法が更新されるものについては、繰り返し実習を行い、学習する予定です。

研修で学んだことを実践することで、ご利用様様の真のニーズにお応えし、安心・安全に生活していただけるよう、これからも努めていきます。



よろしくお願いいたします

～新職員紹介～



ほり うち せい じ
堀 内 精 二

所属 ゆらくの里
管理部(アシスタント)

はじめまして、平成 25 年 1 月からゆらくの里で働き始めた堀内精二です。私は 20 歳の時にてんかんという病気になり、精神的にもかなり苦しみました。しかし、その時に多くの友人、知人に助け励まされ、現在回復傾向にあります。

今度は私が人の役に立つ時だと思っています。事務職で直接利用者様と触れ合う機会が少ないかもしれませんが、責任を持って頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(1 月 4 日 入社)

10月から11月にかけて、ゆらくの里、今人・我楽、ケアホームからそれぞれ一泊旅行に出かけました。その様子を報告いたします。

障がい者支援施設

「ゆらくの里」

第1班：10月17日～18日

第2班：11月7日～8日



恒例の一泊旅行、今年は大河ドラマ『平清盛』の舞台にもなった厳島神社をメインとする広島への旅です。



バスでの長時間の移動は大変でしたが、安芸の宮島は日本三景に数えられるだけあってとても美しく、素晴らしい思い出となりました。ホテルも最高クラスで、瀬戸内海のきれいな景色を眺めることができ、おいしい食事をご利用者様に召し上がっていただくこともできました。

皆さんの笑顔がまた見られるような企画を今後も考えていきたいと思います。

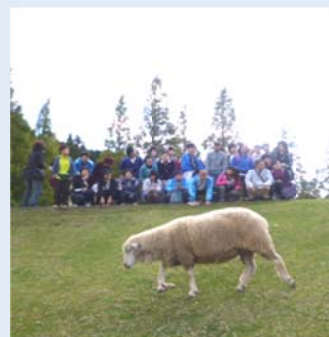
障がい者支援施設

「今人・我楽」

10月18日～19日

今人・我楽としては初めての一泊旅行として、六甲山方面に行きました。宿泊場所は六甲山YMCA。ここで自然の材料を使ってペンダント・写真立てを作りました。食事は班に分かれてカレーを作りました。力を合わせて作った食事を皆さんとてもおいしそうに召し上がっておられました。2日目は六甲山牧場で羊やヤギなどの動物を見学し、子ヤギや子牛のかわいらしさに歓声が上がりました。

旅行後、友達と親睦を深められてよかった、来年もまた行きたい、などの声上がり、今回企画して本当に良かったと感じています。



共同生活介護事業

「のあ」

10月19日～20日

ケアホーム「のあ」の一泊旅行は伊勢志摩方面です。少人数での旅行でしたが、施設での団体旅行の雰囲気とはまた違った家庭的な旅行を皆さん十分に楽しめました。

今回の旅行にあたって、スタッフの計画は最低限にとどめ、旅程の細かな内容は利用者様自身に決めていただくようにしました。そうすることで、旅の楽しみとともに自分で考えて選択する満足感も得ていただくことができました。

年に一度ではありますが、継続的にケアホームの特色を生かした企画にしたいと考えています。



クリスマス会

12月23日



『和をもって』合唱
楽しい一日の締めくくり

恒例のクリスマス会も今年で10回目、今年も児童課のご利用者様、ボランティア様、家族会様など多数の皆様のご協力を得て開催することができました。

今年度のクリスマス会は、公務多忙の中、ご出席くださった香芝市長吉田弘明様のご祝辞から始まりました。クリスマスツリーの点灯式、スタッフによる演奏の後、各事業の出し物、音楽療法、ボランティアの方々や家族会の皆様の笑いあり、感動ありのバラエティに富んだ演目を楽しみました。エンディングでは以和貴会のテーマソング『和をもって』を職員が考えた振付とともに、会場みんなで合唱しました。ご利用者様、ご家族様、地域の方々、ボランティア様、そして職員一同、テーマソングの題名通り『和をもって』一体となることができた、と感じられた時間でした。

皆様のご協力のおかげで楽しいクリスマス会になりました。本当にありがとうございました。今後も以和貴会をよろしくお願いいたします。



ご観覧中の吉田市長
(お楽しみ頂けましたか?)



今人
ダンスパフォーマンス



家族会出し物
(熱演をありがとうございました)



児童課
アンパンマン体操



ふれあいフェスタ

11 月 4 日



晴天の中開かれた第 17 回香芝ふれあいフェスタに、ゆらくの里の日中活動班と今人・我楽が参加しました。

今年は今人・我楽のブースを広げ、パン・洋菓子・綿菓子を販売しました。たくさんのお客様に購入して頂き、189,990 円売上げることができました。香芝市の米粉を使ったパンや洋菓子もとても好評で、早々に完売しました。来年も売上を伸ばせるように計画したいと思います。

日中活動班では、炎（陶芸作品）暖（絵画、粘土作品）心（ビーズ作品）の商品製作も利用者様の頑張りで充実してきました。今後は利用者様の描かれたキャラクター商品なども手掛けていきたいと思っています。次の機会にはぜひ皆様ものぞいてみて下さい。



白ゆり会様寄贈

12 月 17 日



『白ゆり会』様からの雑巾の寄贈も今年で 20 回目となりました。

タオルを提供してくださった方、一針一針心を込めて丁寧に縫ってくださった方、皆様のお心遣いに感謝しつつ法人各事業で使わせていただきます。

『白ゆり会』様は、法人の行事の際にいつもご協力くださっています。これからもご利用者のためにお力を貸していただけますよう、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

新年会

1 月 11 日

年が明けて初めてのイベントは、皆さんが楽しみにされている新年会です。午前中は食堂と多目的ホールに分かれて、ご利用者様にぜんざい・お餅・お鍋を召し上がっていただきました。多目的ホールの希望者には、臼・杵で順番にお餅をついていただきました。皆さん嬉しそうな良い表情をされていました。

午後からはいぶき寮では映画鑑賞会、皆さん集中して観ておられました。みのり寮では書初めを行いました。一生懸命半紙に筆を走らせて、出来上がった



作品はゆらくの里の食堂に展示しました。また、初詣に出かけたグループは志都美神社へのお参りの後、ファミリーレストランで楽しいおやつの時間を過ごされました。

今回、9 名のボランティアの方が、お餅を丸めたりお鍋を用意したりするのを手伝って下さいました。皆様のご協力を感謝いたします。



近鉄百貨店橿原店催事

12月20日～25日

平成24年12月20日から25日まで、近鉄百貨店橿原店地下1階食料品売り場にてモンステラ単独での販売会を実施しました。

クリスマス前の時期とあって、売り場はクリスマス一色。ケーキやプレゼントなどクリスマス商品を探求めて来店されるお客様が多い中での販売ということで、モンステラの商品もクリスマス仕様にして販売に挑みました。正直なところ、無名の菓子工房として出店し、百貨店で通用するのかという不安がありました。初めての取り組みで売上の予測も全く



つかないまま始まった販売会でしたが、催事に向けてパティシエが作った新作「アップルパイ」は連日ほぼ完売することができました。その他の商品も試食をしていただいて購入してくださるお客様が多くいらっしゃいました。おいしいとのお声も多くの方から頂戴しました。

今回の催事ではモンステラを多くのお客様に知っていただくことができました。また、自分たちの商品に自信を持つこともできました。いろいろな意味で、大変良い機会であったと思っています。

期間中、ご多忙の中お立ち寄りいただきましたご利用者様のご家族の方々、関係各所の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。今後も皆様に喜んでいただけるようなお菓子を作っていきたいと思っていますので、応援よろしくお願いします。



お客様からのお手紙

先日モンステラのクッキーをご購入いただいたお客様から、とてもうれしいお手紙が届きました。お客様のご了解を得て、実物をここに紹介させていただきます。

こんにちは。

昨日、入金したばかりなのに、早速、クッキーが届きました。
ありがとうございます。

『モンステラ』さんのクッキーを初めて口にしたのは、今年の春のこと
でした。友人から1袋のクッキーを頂いたのです。それまで、
とても美味しかったので、袋の裏のラベルをそと剝がし、いつか注文
しようと、大団にうろたえていました。

以前から、後産施設等で作られたお菓子類を機会がある毎に
買っていました。一番大事なことだと考えているような気がしていました。
それは、"美味しさ"の問題です。パッケージなど、一度は買って
頂けても、美味しくはなければ二度目は買って頂けません。これは、
単純に施設で働き続けることは不可能です。一般の商店と
同様で、美味しければ、必ずリピートして買って頂くはずだと思っ
ていました。

この『モンステラ』さんのクッキーは、とにかく美味しいのです。
とても丁寧に大団に作られていることが伝わってきます。そして、
パッケージもとても美しいです。価格もとてもお手頃です。
数日後のハロウィンの日には、近所の子供達に、今日届いたクッキー
を渡します。福井の人達にも、こんなに美味しいクッキーを
作っている所があることを宣伝して頂きますね。

これからも『モンステラ』の皆様に楽しく働くことができれば、

私たちとしては当然のことをしたまでのことですが、それを喜んでいただいて素敵なお手紙までいた
だいたこと、とてもうれしく励みになるできごとでした。それと同時に、これからもお客様に喜んで
いただけるように気を引き締めて頑張らなければ、とも思っております。当たり前のことをおろそか
にせず、おいしいお菓子を丁寧に作り、お客様も、そしてご利用者様も笑顔になれるようなそんな場
所になれるよう努力してまいります。ありがとうございました。

補助金等助成報告

日頃は「ぽこあぽこ」を通じて、多くの方からご寄付いただきありがとうございました。平成24年度はぽこあぽこの寄付金から、ゆらくの里の福祉車両（車椅子対応）の購入が実現できました。

さて、平成24年度も4月から多くの補助金申請を行ってまいりました。平成25年1月1日現在、以下の補助をいただくことが決定しております。各事業が行っております支援活動をご理解いただき、結果頂くことができました。補助いただきました行政及び団体様には大変感謝いたします。

補助いただきました資産等を有意義に活用し、ご利用者皆様の生活や活動に役立ててまいります。

《補助事業》

○「24時間テレビ」チャリティー委員会	福祉車両	1台
○日本財団	車両	2台
○関西遊技機商業協同組合	車いす	1台
○奈良県障害者自立支援特別対策事業補助金	送迎車両	1台
	照明機器	一式
	新規事業機器	一式
	新規事業内装	一件

《賛助会員ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただき、ご利用者のために使用させていただきます。

《ゆらくの里》

牧村元嗣、樋田稔枝、大上供栄、片上芳子、中辻嘉子、増尾明広、川北司朗、堀井信裕、川本雅代、久世博子

《地域事業》

井伊政光

《業者ほか》

阪本石油(株)、(株)ステップワン

(順不同、敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

あけましておめでとうございます。
新しい年が始まりました。今年もご利用者様の笑顔をたくさん見られるような支援を目指して努力していきます
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

発 行： 社会福祉法人 以和貴会
住 所： 〒639-0261
奈良県香芝市尼寺616番地
編集責任者：理事長 下村 卓司
Mail： office@yuraku.or.jp
発行： 平成25年1月